

II. 令和5年度の鳥獣被害防止総合対策の実施状況について

1 捕獲対策

(1) 捕獲の担い手確保・育成【自然保護課】

ア 狩猟者の確保

(ア) 狩猟免許の取得支援

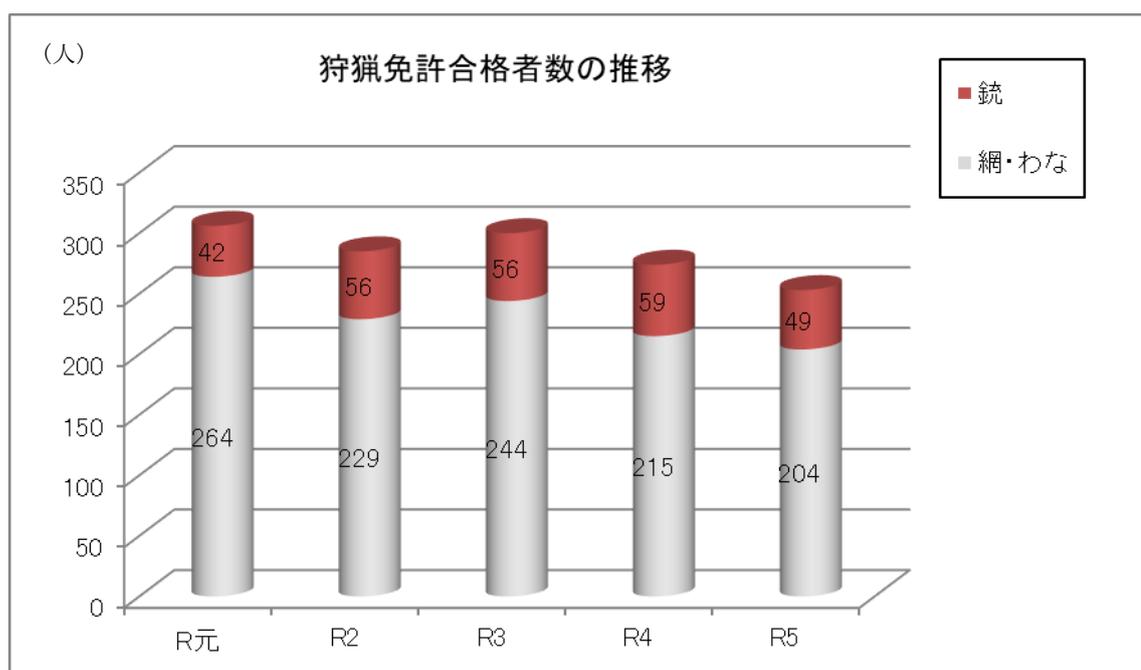
銃猟、わな猟免許の新規取得に係る経費（銃：20千円、わな：15千円）を助成（161人交付）

○狩猟免許合格者数

（単位：人）

区分	R元	R2	R3	R4	R5	増減(対前年度)
網・わな	264	229	244	215	204	▲11人(5.1%減)
銃	42	56	56	59	49	▲10人(16.9%減)
計	306	285	300	274	253	▲21人(7.7%減)

※令和5年度：19歳以下9名、60歳以上63名

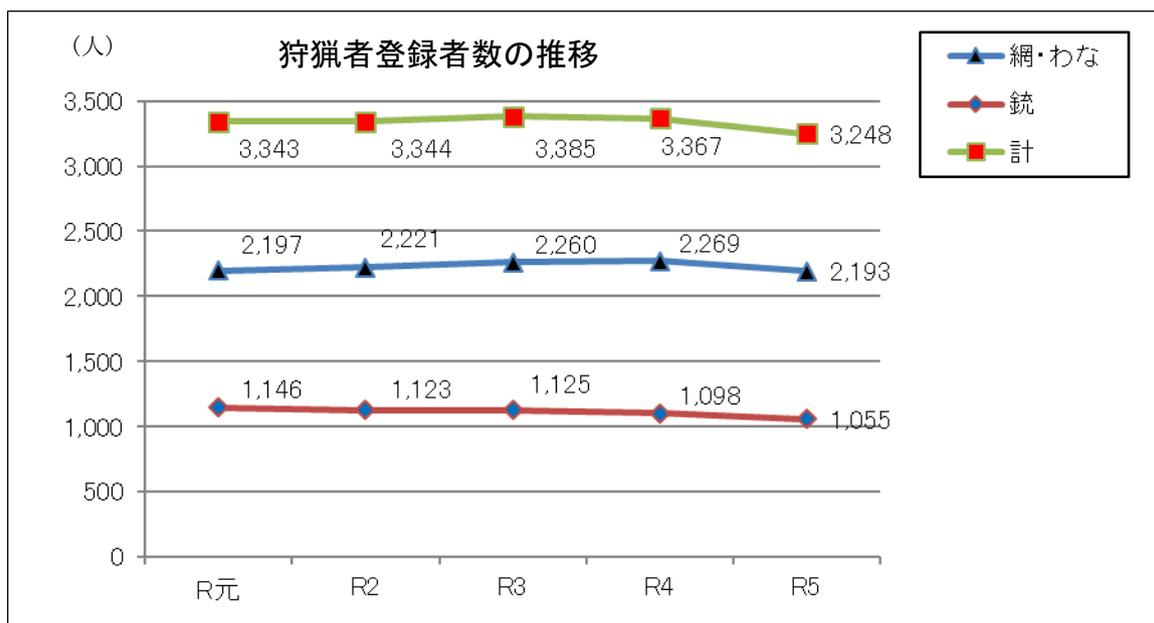


<参考>

○狩猟者登録者数

（単位：人）

区分	R元	R2	R3	R4	R5	増減(対前年度)
網・わな	2,197	2,221	2,260	2,269	2,193	▲76人(3.3%減)
銃	1,146	1,123	1,125	1,098	1,055	▲43人(3.9%減)
計	3,343	3,344	3,385	3,367	3,248	▲119人(3.5%減)



(イ) 狩猟免許の受験機会の拡大継続

狩猟免許試験を県内7カ所で実施（岩国市、周南市、山口市、防府市、美祢市、下関市、長門市）

(ウ) 普及・啓発

- ・ 県ホームページへの掲載、市町広報誌

イ 捕獲技術の研鑽

(ア) 鳥獣捕獲の担い手確保・育成（猟友会委託）

若手の狩猟免許取得希望者を対象に免許取得に向けた研修や免許取得後の実地研修等の実施（8回実施、計154人受講）

(イ) 認定鳥獣捕獲等事業者の育成（猟友会委託）

- ・ 安全管理研修（9月に開催）
- ・ 射撃訓練（10月～11月に実施）
- ・ 銃器によるシカ捕獲技術の実地研修（10月～2月に実施）
- ・ わな捕獲技術研修（10月～2月に実施）

(ウ) 「わな」免許取得者へ向けた捕獲・処理技術の向上研修

狩猟者登録の割合が低いわな免許取得者に対して、獣種やわなの種類ごとに詳しい捕獲技術等の研修の実施

(2) 捕獲の強化【自然保護課・農林水産政策課】

ア ニホンジカの捕獲強化（猟友会委託）

指定管理鳥獣捕獲等事業を活用し、ニホンジカの生息域7市1町で狩猟期における捕獲の強化

（下関市、長門市、美祢市、宇部市、山口市、山陽小野田市、萩市、阿武町）

- ・ 捕獲目標：3,200頭
- ・ 捕獲実績：3,218頭（銃：1,588頭、わな：1,630頭）

イ 市町協議会による捕獲活動（鳥獣被害防止総合対策交付金）

- ・ 捕獲対象鳥獣に対応したわな（はこわな、囲いわな）の導入（9協議会）
- ・ 捕獲経費の支援（15協議会）
- ・ 狩猟免許取得促進（2協議会）

ウ 広域協議会による捕獲活動（広域協議会委託）

（各広域協議会での主な活動）

- ・ 東部：捕獲機材の整備
- ・ 中部：捕獲機材の整備
- ・ 西部：隣接市で連携して取り組む広域共同捕獲（下関市、長門市）、捕獲機材の整備

2 防護対策

(1) 侵入防止柵の設置等

ア 鳥獣被害防止総合対策交付金【農林水産政策課】

下関市協議会等、9協議会において、鳥獣侵入防止柵を整備

- ・ワイヤーメッシュ柵 : 約 164.9 km
 - ・電気柵 : 約 19.6 km
 - ・金網柵 : 約 12.1 km
- 計 196.6 km

イ 農業農村整備事業【農村整備課】

- ・豊田豊北 地区（下関市） : 12.4 km
 - ・王喜東 地区（下関市） : 1.1 km
 - ・七見 地区（下関市） : 5.6 km
 - ・小野朝生 地区（下関市） : 7.8 km
 - ・後地・荒田 地区（下関市） : 0.7 km
 - ・岩永本郷東 地区（美祢市） : 1.1 km
 - ・島地下 地区（山口市） : 1.9 km
 - ・鑄銭司 地区（山口市） : 0.9 km
 - ・川西納所大田地区（田布施町） : 1.3 km
 - ・麻郷奥 地区（田布施町） : 4.9 km
- 計 37.7 km

ウ 中山間地域等直接支払制度【農村整備課】

13市町の226集落協定において、40百万円を鳥獣被害防止対策に活用
中山間地域等直接支払交付金を活用した鳥獣被害防止対策を実施中

（集落協定での主な共同取組活動）

- ・防護柵の設置
- ・防護柵・電気柵の補修
- ・電気柵周辺の草刈り

防護柵の設置作業
（宇部市 未信集落協定）



< 集落協定における中山間地域等直接支払交付金の活用状況 >

区分	総集落協定			うち鳥獣被害対策費を計上した集落協定			
	集落協定数	集落協定交付面積 (ha)	交付金額 (千円)	集落協定数	集落協定面積 (ha)	共同取組金額 (千円)	鳥獣被害防止対策費
							(千円)
下関市	100	2,029	246,306	77	1,733	161,661	11,583
宇部市	33	571	76,176	6	112	4,442	1,616
山口市	86	2,006	224,725	30	871	59,039	4,369
萩市	107	1,792	233,428	27	468	39,944	4,172
防府市	6	57	8,075	0	0	0	0
下松市	2	34	4,501	0	0	0	0
岩国市	65	650	98,454	1	19	2,664	67
光市	2	31	4,426	2	31	2,579	1,530
長門市	90	1,495	190,625	23	399	30,038	4,632
柳井市	42	534	68,133	12	164	14,447	4,224
美祢市	101	1,176	138,757	37	540	45,708	6,171
周南市	26	383	54,301	4	76	11,516	165
山陽小野田市	5	16	3,212	0	0	0	0
周防大島町	30	135	13,658	1	4	259	3
田布施町	9	82	15,908	0	0	0	0
平生町	11	35	6,326	3	10	988	328
阿武町	18	317	40,226	3	98	5,890	1,223
合計	733	11,341	1,427,239	226	4,525	379,177	40,086

注) 面積等は単位未満を四捨五入しているため、合計とその内訳の積算値は一致しない場合あり
(前年度鳥獣被害防止対策費 41,258 千円、14.8%)

エ 森林環境保全整備事業【森林整備課】

健全な森林の造成・保全を目的に、人工造林等作業と一体的にシカ被害防護柵等を設置し、食害等を防止する

		R3	R4	R5
事業実績	防護柵(km)	22	36	36
	防護ネット(ha)	2	1	3
	食害防止保護筒(ha)	1	3	8
保護された森林面積(ha)		48	73	76

※ シカ被害発生地域の新植における防護柵等の実施率は100%



[鳥獣害防止施設等整備]
シカ防護柵設置事業地
(長門市)



[鳥獣害防止施設等整備]
シカ食害防止保護筒設置事業地
(下関市)

(2) 追払い活動等

ア 市町協議会による追払い活動等（鳥獣被害防止総合対策交付金）【農林水産政策課】

- ・カワウ、サギ類による食害防止のための魚道へのテグス張りや、ロケット花火による追払い活動（萩阿武協議会）
- ・サルの追払い活動（山口市協議会）
- ・モンキードッグの養成

<モンキードッグの認定状況>

市 町	頭
下関市	7
萩市	13
周南市	4
美祢市	3
合 計	27

イ カワウ防除【水産振興課】

内水面漁業の重要魚種であるアユをカワウが捕食する被害が発生していることから、内水面漁連が行うカワウ防除の取組を支援

- ・花火を用いた威嚇によるカワウの追い払い
- ・テグス張りによる食害防除

(4～5月のアユの遡上期、9～10月のアユの産卵期に集中実施)

<防除対策の実績>

区分	R1	R2	R3	R4	R5
防除対策 実施漁協数	10 漁協				
追い払った カワウの数	5,175 羽	5,153 羽	6,016 羽	5,109 羽	5,327 羽



テグス張りによる食害防止
(岩国市)

3 生息地管理

(1) 市町協議会による緩衝帯整備（鳥獣被害防止総合対策交付金）【農林水産政策課】

- ・緩衝帯の整備（下関市協議会、萩阿武協議会）

(2) 山口型放牧による緩衝帯整備の推進【畜産振興課】

- ・「鳥獣被害対策研修会（3会場）」において、山口型放牧を活用した緩衝帯整備を紹介
- ・「スマート放牧に関するシンポジウム」において、山口型放牧の取り組みと電圧監視装置等について情報提供
- ・放牧牛の貸出し制度（レンタカウ制度）の推進（R5年度レンタル牛延べ頭数：174頭）
- ・農林総合技術センター畜産技術部において、「山口型放牧における放牧牛の省力的看視技術の開発」を実施（R2～R5）

○山口型放牧面積の推移

（単位：ha）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	増減(対前年度)
面積	314	295	296	274	304	30 (11.0%増)

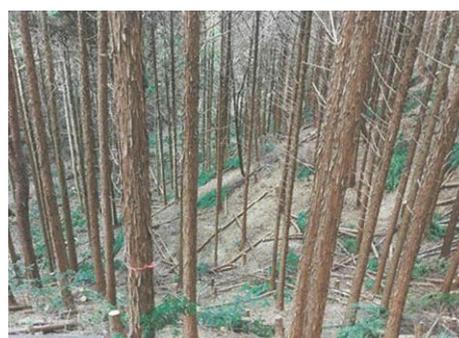
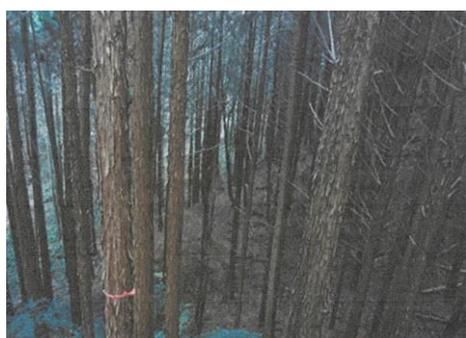


(3) 県民税等を活用した野生鳥獣の生息環境の改善【森林整備課】

ア 森林機能回復事業

クマ等が生息する奥山の荒廃森林（人工林）を対象に本数率で40%以上伐採することで、森林機能（生物多様性保全）の回復を図る

- ・整備見込：85ha（計画：84ha）

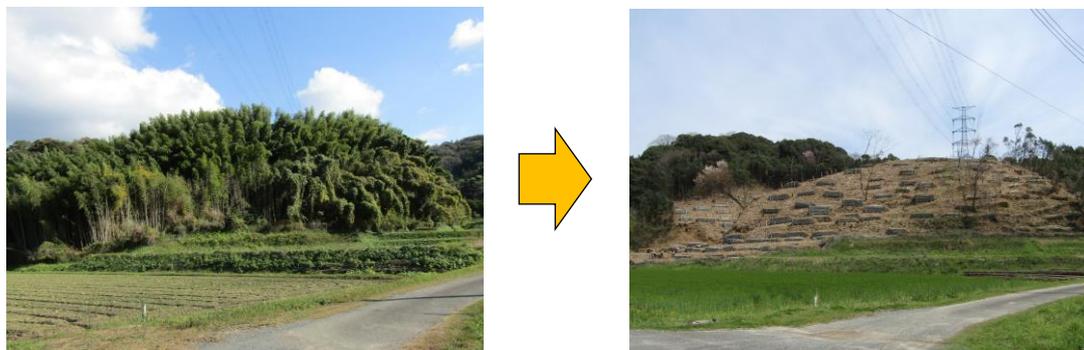


R5 森林機能回復事業 強度間伐事業地（岩国市）

イ 繁茂竹林整備事業

イノシシ等の出没する集落・農地等に隣接する竹林を伐採することで、緩衝帯を整備する

・実績：28ha（計画：23ha）

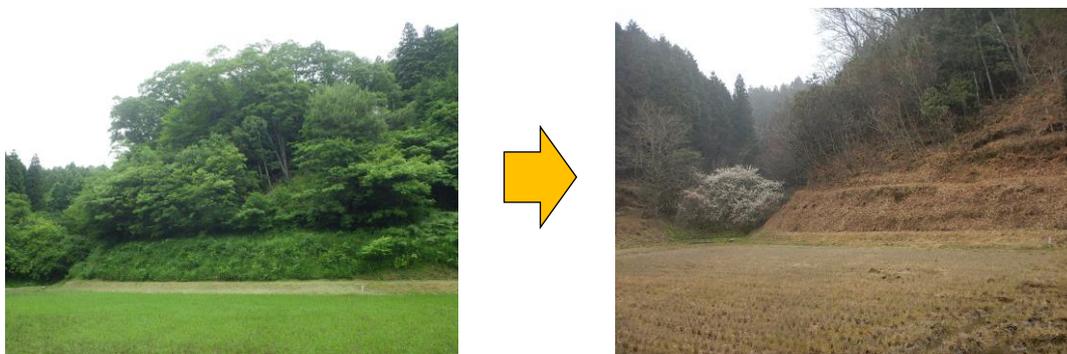


R5 繁茂竹林整備事業 竹林伐採事業地（美祢市）

ウ 地域が育む豊かな森林づくり推進事業

緩衝帯整備等、集落周辺の里山を一体的に明るく見通しの良い森林へ誘導する取組を支援する

・実績：9ha（計画：13ha）



R5 地域が育む豊かな森林づくり推進事業（中山間地域対策）
緩衝帯整備事業地（周南市）

4 地域ぐるみの被害防止活動【農林水産政策課】

(1) 地域ぐるみの被害防止活動の推進

- 農林水産事務所、市町、関係団体等で構成される「地域ぐるみ推進チーム」を中心に、集落営農法人や自治会を対象に、地域ぐるみの被害防止活動の誘導や、地域の被害防止対策計画である「地域ぐるみ活動対策プラン」作成の支援を実施。

(R5年度プラン作成地区：2地区)

<参考>

- ・平成29～令和元年度にかけて取組を行った34のモデル地域での被害減少額（事業実施前年の被害金額一直近の被害金額）は、約1,895万円（64%減）と高い効果
- ・令和2～5年度に「地域ぐるみ活動対策プラン」を作成し、地域ぐるみの被害防止活動を新たに開始した地区は49地区

- 地域ぐるみの鳥獣被害対策を推進するため、鳥獣被害対策アドバイザー（専門業者に委託）を10地区に派遣し、地域ぐるみ活動チーム員の活動をサポート

(岩国市2地区、周南市、阿武町、長門市、山口市、下関市、宇部市、山陽小野田市、萩市)



集落点検地図の作成（岩国市）



イノシシ・サル対策研修会（阿武町）

(2) 地域ぐるみの被害防止活動を推進する人材の養成

- 鳥獣被害防止対策アドバイザー養成研修
日 時 : 令和5年5月30日(火)
場 所 : セミナーパーク
対 象 : 地域ぐるみ推進チーム員(市町、県担当者等)
参加人数 : 30名

- 地域ぐるみ推進チームレベルアップ研修
日 時 : 令和5年7月26日(水)
場 所 : 山口県農林総合技術センター
対 象 : 地域ぐるみ推進チーム員(市町、県担当者等)
参加人数 : 27名

(3) 集落営農法人等を対象とした「鳥獣被害対策研修会」の開催

- 東部ブロック
日 時 : 令和6年1月30日(火)
場 所 : 周南市ゆめプラザ熊毛
参加人数 : 2組織(2名)

- 中部ブロック
日 時 : 令和6年2月6日(火)
場 所 : 山口県農林総合技術センター
参加人数 : 4組織(5名)

- 西部ブロック
日 時 : 令和6年2月14日(水)
場 所 : 下関市西市公民館(西部ブロック)
参加人数 : 9組織(16名)

5 新技術の開発・実証【農林総合技術センター】

先進技術等を活用した効率的かつ効果的な防護、捕獲技術の開発及び実証試験を実施

(1) ヌートリア被害対策技術の実証（岩国市尾津町レンコン産地）

【課題】

ヌートリアによるレンコンの食害発生地域において、現場の実情に合わせた防護・捕獲技術を検討し、マニュアルの効果を検証する。

【試験内容】

- ・被害状況および生息範囲の把握
- ・防護柵の設置の検討
- ・捕獲技術の検証

【今後の対応】

被害対策マニュアルを一部改訂する。

(2) 山口型小型囲いワナの開発・実証（長門市・美祢市）

【課題】

ニホンジカ（以下シカ）による農林業被害発生地域において、積極的な捕獲を推進するため、扱いやすいワナの開発・実証を行う。

【試験内容】

四国森林管理局が開発した小型囲いワナ「こじゃんと2号」をベースに以下の改良を行い、山口型小型囲いワナとして開発、実証を行う。

- ・上抜け防止
- ・運搬性の向上（小型・軽量化）
- ・シカが入りやすい扉の高さを確保
- ・図面を基に鉄工所で製作できる低コストで簡易な構造

【今後の対応】

転倒防止、ワナの強度向上等、より効果的なワナに改良する。



ワナに集まるシカ



捕獲されたシカ

6 ジビエの利用拡大対策【農林水産政策課】

(1) 安定供給に向けた取組

ア 指定管理鳥獣捕獲等事業

- ・捕獲個体のジビエ利用拡大に向け、狩猟者が捕獲したイノシシ及びシカをジビエ処理加工施設へ搬入する取組及び搬入された捕獲個体の解体処理により発生した廃棄物の処理を支援

	R1	R2	R3	R4	R5
搬入頭数(頭)	98	134	175	206	333
廃棄物処理量(kg)	2,130	2,330	2,870	3,615	4,722

(2) 豚熱発生に伴うジビエ利用対策

ア 「豚熱感染確認区域におけるジビエ利用再開に係る検討会」の開催

- ・豚熱感染確認区域の野生イノシシのジビエ利用再開に向けた諸条件を検討するため、令和5年5月1日に設置
- ・6月19日、9月5日、10月20日の計3回開催
- ・令和5年11月より、1事業者がジビエ利用を再開

イ ジビエ利用再開に当たり必要となる設備・資機材の導入支援

- ・国の手引きに基づく対策（防疫、衛生管理）に必要な設備・資機材の導入等を支援する補助金を新たに創設
- ・令和5年度は1業者が活用

(3) 普及啓発・販路拡大

ア ジビエ料理メニュー化支援等

ジビエ料理試食会、県内飲食店によるジビエ料理メニュー化支援等を広域協議会への委託により実施

イ 県庁食堂におけるジビエメニューの提供によるPR

- ・実施日：令和6年3月15日（金）
- ・メニュー：シカ肉の黒酢あんかけ定食
- ・提供数：30食（完売）



俵山猪鹿工房想

(4) 国産ジビエ認証取得支援

長門市の俵山猪鹿工房想が令和6年1月15日に県内初取得

7 その他関連対策【自然保護課】

(1) ツキノワグマ対策

ア クマレンジャー隊及び獣医師の体制整備

- ・クマレンジャー隊を組織し、パトロールや捕獲時の安全確保を実施
- ・学習放獣時の獣医師による麻酔措置体制を整備
(クマレンジャー隊：24 地区・37 隊・262 人)

イ 生息調査の実施

広島県、島根県と連携して、クマの出没予測等に役立てるため、コナラ等の堅果類の餌資源調査、捕獲個体の性別、年齢、食性、栄養状態、繁殖状態等を把握する個体解析調査、生息状況調査を実施

また、山口大学が行う個体解析調査（捕獲個体の性別、年齢、食性、栄養状態、繁殖状態等の把握）に必要な検体を提供

(2) ニホンザル対策

○ モニタリング調査

第二種特定鳥獣管理計画に基づく総合的な管理対策を実施するため、市町による継続的な目撃情報等調査を実施

(3) ニホンジカ対策

○ モニタリング調査

生息分布や生息密度等を把握するため、糞塊密度調査等を実施（調査実績）

糞塊密度調査を11月に30か所で調査を実施

○ 個体数推定調査

ニホンジカの生息状況調査を実施

(4) カワウ対策

○ モニタリング調査

個体群管理のための生息状況等の調査を実施

○ 広域的な連携

中国四国カワウ広域協議会（事務局：中国四国地方環境事務所）に参画し、生息状況や取組状況等の情報を共有